年間授業計画　様式例

八王子北 高等学校　令和８年度（３学年用）教科　　芸術　　科目　総合書道

教　科：　芸術　　科　目：　総合書道　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　D　組

教科担当者：

使用教科書：（　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　総合書道　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
優れた古典作品に触れ、その制作の背景を学び書体や作品の特徴的筆法・書風を理解し、臨書作品の制作に活かせる。	紙のサイズに合った線の太さや字の大きさを理解し、バランスの取れた作品に仕上げることが出来る。書の良さ、美しさ感受し、意図に基づいた構想を表現出来る。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化を感受し、日常における調和のとれた手書き文字を表現出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	A 単元　オリエンテーション 【知識及び技能】 総合書道で学習する内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 書写と書道の違いについて学習する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 書写と書道の違いについて学習する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○	○	○	○	【知識及び技能】 書写と書道の違いについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 今後、指示通り用具の扱いができるか。	○	○	○	2
	A 単元　楷書の学習 【知識及び技能】 漢字作品の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 五つの書体について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 半切に作品をまとめる	・指導事項 漢字の作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。　【思考力、判断力、表現力等】 半切にバランス良く表現できたか。	○	○	○	10
	A 単元　仮名の学習 【知識及び技能】 仮名の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の書き方について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた仮名文字を表現出来る。	・指導事項 仮名の作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用			○	○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。　【思考力、判断力、表現力等】 料紙にバランス良く表現できたか。	○	○	○	4
2学期	A 単元　漢字仮名交じりの学習 【知識及び技能】 漢字仮名交じり書の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 調和のとれた漢字仮名交じり作品	・指導事項 漢字仮名交じりの作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○			○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解できたか。　【思考力、判断力、表現力等】 八切りにバランス良く表現できたか。	○	○	○	6
	A 単元　水墨画の学習 【知識及び技能】 水墨画の基本について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 水墨画の線について学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 竹・梅・雀を表現出来る。	・指導事項 水墨画の作品を比較する ・教材 教科書、手本 ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用				○	【知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 半切1/3にバランス良く表現できたか。	○	○	○	6
3学期	A 単元　作品鑑賞 【知識及び技能】 映像を観て書道の魅力について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 感想を言語化することについて学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 書道についての映像をみて感想を書く　・教材 教科書、鑑賞DVD ・一人１台端末の活用等 映像資料の活用	○	○	○	○	【知識及び技能】 書家や作品の映像についての基礎知識が理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 感想を良く表現できたか。	○	○	○	4
											合計 32